

6月4日～10日は「歯と口の健康週間」

歯と口の健康意識について調査を実施

- ・ 歯科での定期検診受診率が最も低いのは40代男性
- ・ 新型コロナウイルスで免疫力に対する意識は高まるが、
“口内環境を整える必要があると考える人”は2割にとどまる

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループにおいて、ヘルスケア領域を展開しているオハヨーバイオテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：野津 基弘）は、歯と口の健康週間（6月4日～10日）にあわせ、歯と口の健康意識についての調査を実施しました。

調査では、歯と口の健康のために、自宅での日常的なケアとして「歯ブラシでの歯磨き」は約97%の人が実施しており習慣化していることが判明する一方、「歯間ケア」や「マウスウォッシュなどを使用したうがい」の実施率はそれぞれ50%以下という結果となりました。

また現在は、むし歯や歯周病の予防と早期発見・治療のために定期的に歯科検診を受けることが大切とされていますが、歯科医院での定期検診については半数以上が受診しておらず、特に40代の男性では受診していない人が約63%と、最も受診率が低い結果となりました。

図1：歯と口の健康のために自宅で日常的にしていることは？

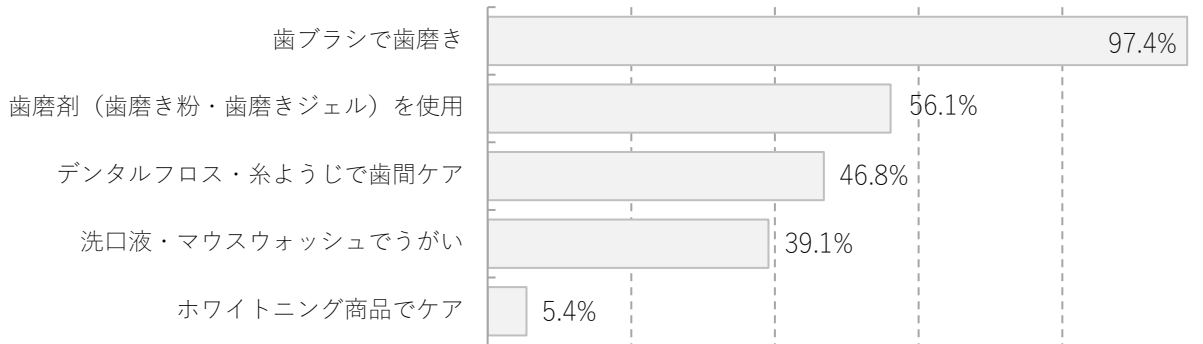


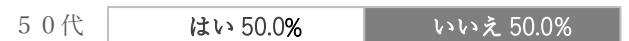
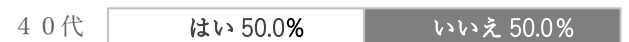
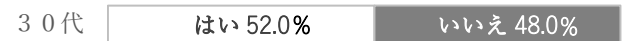
図2：歯科医院での検診を定期的に受けていますか？

<全体> はい 49.0% いいえ 51.0%

<男性>



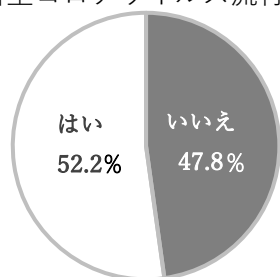
<女性>



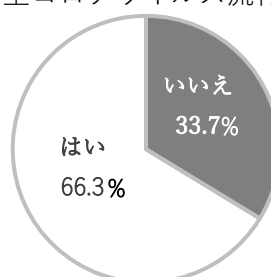
また、昨今の社会情勢下での免疫力に関する意識についても調査したところ、「免疫力向上を意識して生活・行動している」は約 66%にのぼり、新型コロナウイルス流行前と比較すると約 14 ポイント上昇していることがわかりました。

図 3：免疫力を意識して生活・行動していますか？

<新型コロナウイルス流行前>



<新型コロナウイルス流行後>



今回の調査で、「免疫力向上のために腸内環境を整える必要がある」と考える人は約 40%いましたが、「口内環境を整える必要がある」と考える人は約 21%にとどまりました。近年の研究で口内環境が腸内環境と密接な関係にあり、全身の免疫力にも影響を与えることがわかってきています。

ぜひ、この度の「歯と口の健康週間」では、「歯と口の健康」のために重要な①歯科医院での定期検診を受けるプロケア、②歯ブラシ・フロスなどでのブラッシング、③普段の食事などで良質な善玉菌を取り入れること（バクテリアセラピー）からセルフケアを見直してみたいかがでしょうか。

<調査概要について>

調査対象：30 代以上の男女 300 名
調査期間：2020 年 5 月 26 日～5 月 27 日
調査方法：インターネット調査

— オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社 会社情報 —

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループとして、2017 年 4 月に設立。日本人の健康寿命を延ばし、豊かな人生を実現するため「医と食のバランスを変える」という 10 年ビジョンを掲げ、グループの新規事業をリードしてまいります。